

相続税の申告書

修正

FD3563

税務署長

年 月 日 提出

相続開始年月日 年 月 日

※申告期限延長日

年 月 日

フリガナは、必ず記入してください。

各人の合計		財産を取得した人	
フリガナ (被相続人)		参考として記載している場合	
氏名		参考	
個人番号又は法人番号		↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄としここから記入してください。	
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)	
住所 (電話番号)		〒 (- -)	
被相続人との続柄 職業			
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与	
※整理番号			
取得財産の価額 (第11表③)		円	
相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑦)		円	
債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)		円	
純資産価額 (①+②-③) (赤字のときは0)		円	
純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)		円	
課税価格 (④+⑤) (1,000円未満切捨て)		円	
法定相続人の数 遺産に係る基礎控除額		円	
相続税の総額		円	
一般の場合 (⑩の場合を除く)		円	
農地等納税を受ける場合		円	
相続税額の2割加算が行われる場合の加算金額 (第4表⑦)		円	
暦年課税分の贈与税額控除額 (第4表の2②)		円	
配偶者の税額軽減額 (第5表①又は②)		円	
⑩・⑬以外の税額控除額 (第8の8表1⑤)		円	
計		円	
差引税額 (⑨+⑩-⑬)又は(⑩+⑪-⑬) (赤字のときは0)		円	
相続時精算課税分の贈与税額控除額 (第11の2表1⑧)		円	
医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)		円	
小計 (⑩-⑪-⑬)		円	
納税猶予税額 (第8の8表2⑧)		円	
申告納税額 (⑩-⑪)		円	
申告期限までに納付すべき税額		円	
申告納税額 (⑩-⑪) 還付される税額		円	
この申告書が修正申告書である場合			
この修正前の小計		円	
納税猶予税額		円	
申告納税額 (還付の場合は、頭に△を記載)		円	
小計の増加額 (⑩-⑪)		円	
この申告により納付すべき税額又は還付される税額 (還付の場合は、頭に△を記載) ((⑩)又は(⑪)-⑫)		円	
申告区分	年分	グループ番号	補完番号
名簿番号	申告年月日	関与区分	書面添付
			検算
			管理補完
			確認

第1表(令和5年1月分以降用)

注 ⑩欄の金額が赤字となる場合は、⑩欄の左端に△を付してください。なお、この場合で、⑩欄の金額のうち贈与税の外国税額控除額(第11の2表1⑨)があるときは⑩欄の金額については「相続税の申告のしかた」を参照してください。

この申告書で提出しない人である場合(参考として記載している場合)は、参考を○で囲んでください(その人の分は申告書とは取り扱いません)。

税務署受付印
○この申告書は機械で読み取りますので、黒ボールペンで記入してください。また、申告書と添付資料を一緒にとじないでください。
※の項目は記入する必要がありません。

※税務署 署欄 信印 通日 年月日 (確認)